陽のひかり、夜のあかり。

京の冬の旅キャンペーンイベント

光の現代美

Light, Art, Chokyoto

重要文化財 旧三井家下鴨別邸

2017年 12月15日(金)〜25日(月)

*20日(水)を除く

昼の部 午前9時〜午後5時 (午後4時30分受付終了)
通常非公開の主屋2階と茶室
〈作品展示〉
金氏徹平 Kaneuji Teppei
川尻 潤 Kawajiri Jun
孫 遜 Sun Xun
二見光宇馬 Futami Kowma
牧野和馬 Makino Kazuma

夜の部 午後6時〜午後9時 (午後8時30分受付終了)
初の夜間公開
〈ライトアップ〉
高橋匡太 Takahashi Kyota
三嶽伊紗 Mitake Isa
村山 明 Murayama Akira
吉岡更紗 Yoshioka Sarasa
山本晃久 Yamamoto Akihisa
娄 申義 Lou Shenyi

2017

主催：芸術計画 超京都
京都市文化財公開施設
運営管理事業受託コンソーシアム
【構成団体】
公益社団法人京都市観光協会
賀茂御祖神社
株式会社曽根造園
三井不動産レジデンシャルサービス関西株式会社
共催：京都市
助成：一般財団法人ニッシャ印刷文化振興財団
後援：公益財団法人京都市芸術文化協会
協賛：株式会社SGC
株式会社サンエムカラー
北陵電工株式会社
協力：株式会社エイトブランディングデザイン
sakishiraz
星空間
株式会社竹尾
株式会社ハートス

起方邸

www.chokyoto.com

photo by Makino Kazuma art work by Takahashi Kyota ©CHOKYOTO

光の現代美

Light, Art, Chokyoto

重要文化財 旧三井家下鴨別邸

2017年12月15日(金)–25日(月)

*20日(水)を除く

下鴨の原生林に囲まれた重要文化財 旧三井家下鴨別邸は、大正14年に竣工されました。「光の現代美」は、その簡素な美しさと現代の表現者が呼応する催しです。

昼の部では、通常非公開の主屋2階や茶室において、伝統を継承する表現者と時代を拓く表現者による数々の作品展示。暮らしの灯、祈りの光、日本の伝統色や天然の色彩で構成します。京都で初めての展示となる中国の2作家は、日本への旅を通じて両国の文化を照らしだします。

夜の部では、初の夜間公開となる庭園を散策していただき、望楼を頂く建物全体と庭園を染めるライトアップをお楽しみいただきます。日本の伝統色を基調とする光は、建物が呼吸するかのように、室内から外へと放たれます。

企画・運営の「芸術計画・超京都」は、2010年にアートフェア開催より活動を開始しました。このたびは、京都のアートシーンをより多角的に構想するため、初のテーマ展開催となりました。冬の訪れを祝う冬至祭のように、皆様とともに街の喧騒を離れた下鴨に集うことができましたら幸いです。ぜひご来場ください。

昼の部 午前9時〜午後5時 (午後4時30分受付終了)

〈作品展示〉

金氏徹平
Kaneuji Teppei

1978年京都生まれ。京都市立芸術大学大学院彫刻研究科専攻修了。現在同学講師。絵画や映像、写真、パフォーマンスなどの領域を横断しながら、収集した事物をコラージュ的手法で組み合わせて作品を制作し、新しい彫刻のかたちを探求している。

川尻 潤
Kawajiri Jun

先祖は、九谷焼 前田藩御用窯 窯主。京都にて4代。日本独自の美意識を現代の表現として制作。展覧会、受賞歴多数。東京藝術大学大学院博士課程修了デザイン専攻。著書に「歪みを愛でる—挑発する日本美術」(2004年・ポーラ出版)。

孫 遜
Sun Xun

1980年中国・遼寧省生まれ。中国美術学院版画系卒業の翌年にスタジオ"π"格動画工作室を杭州に設立、現在は北京を拠点に活動。中国の古典的な手法を用いた水墨画やインスタレーション、モノクロ調のアニメーション映像の題材の多くは政治風刺的である。

二見光宇馬
Futami Kowma

1976年 静岡県熱海市生まれ、2001年 玉川大学農学部農学科卒業、2008年 陶器にて仏像の制作を始める、2015年 京都に工房を移す。

牧野和馬
Makino Kazuma

1978年京都生まれ。写真家。京都工芸繊維大学造形工学科卒業。大学卒業後、写真家：故井上隆雄氏の助手を務める。街角や自然の寡黙な美しさを丹念に見つめる。近年は、曇天の中庸な光が包み込む海景の屏風作品に取り組んでいる。

三嶽伊紗
Mitake Isa

撮影：米津光

1956年高知市生まれ。1982年京都市立芸術大学大学院修了。カタチから離れモノの輪郭を曖昧にする制作をつづける。10年前より映像作品も発表。2016年 縄文と現代「白い、白い遠望」(京都造形芸術大学芸術館)、2014年「三嶽伊紗のしごと_みているもののむこう」(徳島県立近代美術館)。

村山 明
Murayama Akira

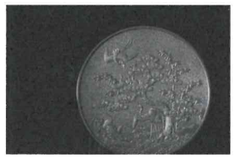
撮影：大島拓也

京都市立美術大学(現、芸術大学)彫刻卒業の後、黒田辰秋に師事。2003年人間国宝(重要無形文化財「木工芸」の保持者)。

吉岡更紗
Yoshioka Sarasa

染織家。アパレルデザイン会社勤務を経て、愛媛県西予市野村町 シルク博物館にて養蚕、製糸、撚糸、染色、製織を学ぶ。2008年より、生家の「染司よしおか」にて、自然界に存在する植物で、糸染め、織りを中心に制作を行っている。「染司よしおか」では、すべて自然界に存在するもので染めを行ない、奈良東大寺二月堂修二会、薬師寺花会式、石清水八幡宮石清水祭など、古社寺の行事に関わり、国宝の復元なども手掛ける。

山本晃久
Yamamoto Akihisa



撮影：Stria photographs

鏡師。1975年京都市生まれ。国内で唯一手仕事による和鏡・神鏡・魔鏡を製作する山本合金製作所に生まれ、家業に入る。祖父、山本風龍に師事して伝統技法を受け継ぎ、全国の社寺の御霊代鏡や御神鏡の製作や博物館所蔵の鏡復元に携わっている。2014年、安倍首相がバチカン訪問時にローマ法王に献上した切支丹魔鏡の制作にも携わる。

娄 申義
Lou Shenyi

1973年中国・浙江省生まれ。中央美術学院壁画系卒業。現在同学視覚芸術学院講師。デザインや自然科学、宗教などの視点を絵画に持ち込み、鮮やかな色彩と単純明快な筆使いを組み合わせながら直感的に描く作品は、自身の率直な芸術理念を体現している。

夜の部 午後6時〜午後9時 (午後8時30分受付終了)

〈ライトアップ〉

高橋匡太
Takahashi Kyota

撮影：村上美都

1970年京都生まれ。1995年京都市芸術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了。光や映像によるパブリックプロジェクション、インスタレーション、パフォーマンス公演など幅広く国内外で活動を行っている。東京駅100周年記念ライトアップ、京都・二条城、十和田市現代美術館、など大規模な建築物のライティングプロジェクトは、ダイナミックで造形的な映像と光の作品を創り出す。多くの人とともに作る「夢のたねプロジェクト」、「ひかりの実」、「ひかりの花畑」、「Glow with City Project」など大規模な参加型アートプロジェクトも数多く手がけている。

www.chokyoto.com

<観覧料>

	大人	中高生	小学生	小学生未満
昼の部 (入館料含む)	¥1,200	¥1,100	¥1,000	無料
夜の部	¥700	¥300	¥200	無料
共 通	¥1,520	¥1,120	¥960	無料

*毎日先着 100 名に「光の現代美」オリジナルポストカード(昼の部セット組、夜の部1枚)進呈。

*前売り券はございません。会場にてチケットをお求めください。

*共通券は昼の部・夜の部を別々の日にご鑑賞いただけます。ただし、昼・夜とも入場は1回に限ります。

<問合わせ先>

○旧三井家下鴨別邸に関すること
旧三井家下鴨別邸 TEL 075−366−4321

○事業に関すること
芸術計画 超京都 TEL 075−341−0222

重要文化財 旧三井家下鴨別邸
〒606-0801 京都市左京区下鴨宮河町58-2
http://www.kyokanko.or.jp/mitsuike

旧三井家下鴨別邸へは
公共交通機関をご利用ください。

※旧三井家下鴨別邸には駐車場がございません。

<アクセス>

○京阪電車・叡山電車「出町柳」駅下車徒歩5分
- JR「京都」駅からの場合、JR奈良線「東福寺」駅で連絡
- 地下鉄東西線ご利用の場合、「三条京阪」駅で「三条」駅に連絡
- 近鉄電車ご利用の場合、「近鉄丹波橋」駅で「丹波橋」駅に連絡

○JR、地下鉄烏丸線「京都」駅から
- 市バス4・17「出町柳駅前」下車徒歩5分
- 市バス205「葵橋西詰」下車徒歩5分

○阪急「河原町」駅から
- 市バス4・17「出町柳駅前」下車徒歩5分
- 市バス205「葵橋西詰」下車徒歩5分